

# IFRSが管理会計に与える影響

## 商・川野 克典准教授

日本の企業経営の世界とされるグローバルスタンダードな基準を上場企業に強制適用する方針が、未だに企業が強制適用する方針が金融庁から出されている。会計処理、会計報告の規範として戦後間もないころから依拠してきた会計基準に代わって、早ければ2015(平成27)年以降にも「国際会計基準(IFRS)」

とされるグローバルスタンダードな基準を上場企業に強制適用する方針が、未だに企業が強制適用する方針が金融庁から出されている。会計処理、会計報告の規範として戦後間もないころから依拠してきた会計基準に代わって、早ければ2015(平成27)年以降にも「国際会計基準(IFRS)」

研究室でパソコンに向かう川野准教授

会計ルールの変更は、企業や損益計算書を作成する際の重要な物差しが変化する。例として、報告する財務会計(外部報告)と、企業内の経営者、経営管理者向けに業績に関するさまざまな情報を提供する管理会計(内部報告)との違いが、最終利益の位置付けに業績に関するさまざまな情報を提供する管理会計(内部報告)として授業の教材に「マナジメントゲーム」という経営シミュレーションゲームを採り入れた。川野准教授はその手始めに、最終利益の位置付けに業績に関するさまざまな情報を提供する管理会計(内部報告)として授業の教材に「マナジメントゲーム」という経営シミュレーションゲームを採り入れた。

指摘する。ゲームを使って授業。門外漢にはちょっととつきにくい、この管理

# 会計基準の大転換期

## 3つの研究テーマをベースに 実務と学問の乖離解消めざす

計算などが学べる。授業では学生が社長となり、マーケットから原材料や仕入れから利益を得るまでの過程を決算にまとめ、マーケットから原材料や仕入れから利益を得るまでの過程を決算にまとめることで会計が理解できる仕組みになっている。「昨年度、ゼミ生に好評だったので授業でも採り入れることに。マナジメントゲームは一つのツールではありますが、将来的には楽しく勉強できる新しいツール、新しい教育方法を開発したいと考えています」



マナジメントゲームを使って管理会計を教える川野准教授(7月のゼミ合宿で)

と川野准教授はいう。例があるにもかかわらず、原価計算の方法として、一般的な教科書では、個別原価計算と総合原価計算の2つがあるとして、和37)年設定の原価計算

川野 克典(かかのぐ) 昭和57年(1982年)生まれ。青山学院大学経営学部卒業。20年日本大学商学卒。アルプス電気入社。部准教授。日本会計研究学会、日本監査法人(現あすき監査法人) 研究会などに所属。に移り、同法人の分社、専門は管理会計、原価事業統合に伴い14年K 計算、会計教育など。PGMコンサルティン 千葉県出身。50歳。

# 地上と宇宙を結ぶ「宇宙エレベーター」の研究

## 理工・青木 義男教授

地上と宇宙を巨大なエレベーターで結び、人や物資を運ぶ「宇宙エレベーター」。青木義男教授はそんな夢の輸送機関の研究に挑んでいる。青木教授によると、「宇宙エレベーターは、地上から宇宙へと伸びる塔のようなもの。静止衛星と同じ高度約3万6000の地点に宇宙ステーションを建設し、そこからクモの糸のようにケーブルをつり下げ、そのケーブルを昇降装置で昇降させていくのです」。



千葉県の日大二和校地で実験中の青木教授(右端)と学生たち

有害物質を撒き散らすこともある。また、一度の打ち上げにかかる費用も百億円規模と膨大だ。

# 理論上では実現可能な段階に

## 地上での昇降実験では一定の成果

「その点、宇宙エレベーターは電力で昇降するのだから、危険や環境汚染はありませんが、ロケットの数々、数千分の一と試算されています。宇宙エレベーターが1プ(CNT)が発見されれば、本格的な研究が始まった。現在、宇宙エレベーターの建築は理論上可能だ。しかし、技術上の課題が山積のため、「どのよう

も宇宙法やロボット技術、海洋建築技術、芸術など、様々な分野の教授陣に協力をお願いしています。乗り物を作るだけ、基地を設計するだけというようにバラバラに取り組むのではなく、宇宙エレベーターのシステム全体をデザインできるのは、総合大の強みと見なされています。そのために力を入れていくのが、子どもたちへの啓蒙活動だ。例えば青



地上ステーションの構想図

木研究室では「レゴ®ブロック」を使って、実際に移動させることもできる宇宙エレベーターのミニチュアを製作。これをからこそ、次世代を担う各地のイベントで展示し、子どもたちに宇宙技術の夢を伝えることは非常に重要。今後も様々な活動を通して、夢を継ぐ人材を育てていきたい」と、青木教授は抱負を語る。

青木 義男(あおき ぎお) 昭和60年(1985年)生まれ。理工学部精密機械工学科教授。専門は安全設計工学。日本宇宙エレベーター協会副会長。日本材料学会、日本建築学会など7学会に所属。53歳。

### プロフィール